

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 34-001

PDCA	事務事業名	病院経営事業	部課等名	病院事務局 管理課 経理担当	担当	石川	
					内線等	22-9881	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第3節 健康増進と医療体制の充実					
		基本施策： 3. 半田病院					
		単位施策： (2) 健全な経営の推進					
根拠法令等	地方公営企業法、半田市病院事業の設置等に関する条例等						
対象・目的	公立病院として地域住民に対し、安全で安心かつ質の高い医療を提供し、病院経営を継続的に黒字にする。						
目的を達成するための手段・活動内容	地方公営企業法に基づき、住民の福祉、健康保持に必要な医療を提供するため、病院改革プランに基づく取り組みを始め、経営改善に努めることで病院事業を継続的に行う。						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①医業収益	12,947,019	13,970,720	12,931,596	千円	
		②医業外収益	563,023	543,216	652,986	千円	
		③医業費用	12,475,213	13,084,200	12,642,620	千円	
		事業費	6,027,025	6,558,863	6,140,616	千円	
		人件費	6,448,188	6,525,337	6,502,004	千円	
		総事業費	12,475,213	13,084,200	12,642,620	千円	
	活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位		
	①材料費対医業収益比率	25.3	26.4	25.7	%		
	②入院患者一人1日当たり診療収入	61,652	62,906	64,420	円		
	③外来患者一人1日当たり診療収入	16,471	18,110	18,993	円		
	成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①経常収支比率	実績値	104.3	106.3	101.1	%
			目標値	103.1	102.0	101.0	
②医業収支比率		実績値	103.8	106.8	102.3	%	
		目標値	102.5	102.0	101.0		
③利益剰余金 (▲マイナスは累積欠損金を表す)		実績値	▲ 665	175	319	百万円	
	目標値	▲ 689	▲ 503	175			
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※手段の変更			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない				
事業の評価・課題	<p>B</p> <p>新型コロナウイルスへの対応については、知多半島公立公的4病院を中心に緊密な医療連携・機能分担を図っている。他の3病院に感染患者を多く診療していただき、当院は救急・急性期を中心とした第3次救急の病院機能を維持することができた。</p> <p>経営面においては、新型コロナウイルスの感染拡大にともなう病棟の受け入れ制限や受診控え等により、入院・外来患者数、医業収益が大幅に減少した。費用面においても、通年での消費税率増をはじめ、電子カルテ更新やダウンチ導入のほか、コロナ関連の投資等の増にともなう費用増があったものの、病院全体で材料費や保守費などの経費削減に努め、大幅な収益減の状況においても黒字決算を維持することができた。</p>						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<p>改善推進</p> <p>全国的な新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な状況ではあるが、当院ではクラスターを発生させないための感染対策はもとより、救急医療を必要とする患者は安定的に受け入れ、常滑市民病院をはじめとする近隣病院や地域の医療機関等の役割分担・連携により地域の医療体制を守っていく。加えて、ワクチン接種への医療職派遣をはじめ、感染症の早期収束に向けて積極的に医療資源を投入し、良質な医療を安定的に提供できる体制を維持していく。</p>					
	令和3年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①経常収支比率	101	%			
	②医業収支比率	100	%				